### 生活者ネットワーク活動報告 わくわく通信

Eメール fuchu-snet@ric.hi-ho.ne.jp ホームページ http://fuchu.seikatsusha.me/ http://tamura.seikatsusha.me http://nishino.seikatsusha.me

2017年1月18日発行 生活者ネットワーク 発行責任者 田村智恵美 〒183-0023 府中市宮町 2-15-1 柏屋ビル1F Tel042-360-4443 fax042-360-4462

女性の視点を活かした

府中市の計画にある「男女双

# 导時の対策に、

地震や洪水などの災害が各地で起こっています。阪神 淡路大震災以降、「公助」だけでなく「自助・共助」の大 切さが強調されるようになりました。しかし自助・共助だ けでは、高齢者、障がい者や女性はどうなるでしょうか。 府中市の地域防災計画を女性の視点から検証します。

> 災害時用の「トイレ」を展示 府中平和まつりで

> > 会」を創設しました。しかし、

とに新たに「地域自主防災連絡

営等を行うことを目的に、市内

か所の文化センター圏域ご

視点で防災を考える」をテーマ 和まつり」で、「女性の人権の イレを展示し、見学者に感想を に、市が備蓄するマンホールト 昨年10月、市民が企画する「平 府中・生活者ネットワークは

います

だ時間が必要と市は説明して

し、市民に周知されるには、 この連絡会が組織として活動

ま

聞きました。 ●音が外に聞こえる。●照明が

災が続くいま、

当に数は足りるのか。といった どもも安心して使えるか。●本 暗い。●男女別になるか。●子

への配慮の象徴的な例です。 声がありました。 公助」を担う市の福祉や防災 「トイレ」の問題は要援護者

び生かす活動が必要です。

防災会議での女性委員を増や すことなど、女性参画が随所に

防災訓練に女性の参加の工夫、 運営マニュアルの策定と総合 策の推進」の項目では、避難所 方の視点を取り入れた防災対

神淡路大震災や中越地震の避 盛り込まれています。これは阪

す必要性を認識しました。

た対策を女性の視点から見直 の担当課ごとの縦割りを超え

が避難所の快適さ、安心感につ 害を防ぐためのチラシを貼っ ながったと報道されています

ら学んだ女性リーダーの存在 にりなど、過去の震災経験者か したり、女性への暴力や人権侵

化させ地域住民の共助による

避難誘導や救助活動、

避難所運

室を人目の少ない場所に移動 地域自主防災連絡会」 昨年6月、市は自治会を活件 創設されたが・・・

が

ドキュメンタリー映画〈2016/12月上映〉

### ・思いやり」を観て

あったことなど、女性のプライ

寂しい場所で性暴力の被害が

する場所がなかったこと、暗く 難所で、女性が着替えや授乳を

なかったという検証をもとに、

シーや人権への配慮が足り

女性の視点」が不可欠となっ

熊本地震では、避難所の更衣

─災害時用マンホールトイレ

トランプ次期大統領の「在 日米軍費用を日本にも負担 させる」との発言で、日本が 在日米軍経費の約7割を負 担していることが明らかに

米軍に対する「思いやり予算」年間8,911億 円(2015年度)の負担金の実態を、多くの関 係者の視点からあぶり出す。

なったが、この映画は、在日

「思いやり予算」は米軍家族の住宅、学校、ゴ ルフ場等の整備に限らず、日米地位協定で禁じ られている軍事的活動にも使われてきた。横須 賀の原子力空母の母港化に際しては 100 億円 近くを負担した。また、沖縄の海兵隊のグアム への移転経費も「思いやり予算」だ。そのグア ムでは米軍やその家族で人口が 1.5 倍にもな り、道路混雑などによる観光産業への影響や、 新たな軍港建設による環境破壊が危惧され、い ったん計画は凍結された。しかし、日本政府は 負担金 1 兆 8 千億円をすでにグアムに送って いるという。矛盾だらけの「思いやり予算」の 実態を私たちはあまりにも知らされていない。

(重田 益美)

女性が受けた被害の体験を学 きるリーダーの養成のために、 難所運営をコーディネートで

状況に配慮し人権侵害を起こ さないことが大前提です。大震 避難所運営はすべての人の 人権の視点で避 ......

### 「子どもの生きる力を育む居場所を作ろう

外で思いっきり遊ぶ、そんな経験が難しくなっている今 どんな場所が必要なのか考えたい、というメンバーを中心に、 「お外で子育て推進講座」を開催することになりました。

日時:1月29日(日)13:30~

会場:ルミエール府中第1・2会議室

講師:高子未乃梨(たかねみのり)さん

相模原市「銀河の森プレイパーク」代表 NPO 法人「日本冒険遊び場づくり協会」運営委員

参加費:無料

託児はありませんが、お子さん連れでど**うぞ!** 

: NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会 お外で子育て推進講座実行委員会 お問い合わせ・お申し込み

府中・生活者ネットワーク **5**042-360-4443



# 12月議会から

### 西のなお美 一般質問

児童数の増加に対応する 学童保育を

童クラブを必要とする子どもは確実 ラブの建物では育成面積の確保が難 が、4年生から6年生についても学 れに努める」との答弁がありました 小学校3年生までの児童全員の受入 しいため、 しての役割をどう保障するのか質問 生活をゆとりを持って行なえる場と スペースで多くの児童が放課後を過 加しています。そのために限られた え、学童クラブへの入会希望者も増 集合住宅等の増加で子どもの数が増 ますが、府中市では市内中心部での に入会できるように要望しました。 しました。市からは「現在の学童ク ブの、働く親を支え、日々の遊びや ごす状況になっています。学童クラ 保育所の待機児が問題になってい 学校施設等の活用により

# 公共施設使用料の有料化、 進め方が不透明ー

見直すという方針が12月議会で示さ まで無料で利用できたところも減額 ター等の登録団体、 れました。社会教育団体や女性セン 公共施設の使用料を行革の観点から 文化センター、女性センターなど 自治会などこれ

> 性が保たれるのか不透明です。使用 では市の統一した基準を示したこと 挙げられています。しかし、その割 の割合を見直し、有料化することが を明確にすることを求めました。 料検討のための協議会を設け、経過 合はそれぞれの施設の担当課で調整 にはなりません。決定の過程も公平 判断するということです。それ

### 田村智恵美 般質問



報が行き届くための配慮が求められ 近年はデイジー図書(デジタル録音図 ためには、点字図書や朗読だけでなく ます。特に視覚障がいのある人たちの 公立の図書館には、すべての人に情 図書館の障がい者サービスの 充実を進めよう

やすい場所に配置されています。 サービスについて知ってもらおうと、 館では、図書館を訪れた人に障がい者 を再生するパソコンは館内の利用し ィアデイジー(音声、画像、テキスト) ていました。拡大読書器やマルチメデ 入り口の前に説明パネルが展示され 昨年見学した新宿区立の戸山図書

②でなる。 図書館の障析者 サービス こんなサービスが ニんどは おじいちゃんも いっしょに 来わな

## 205億円! 建設にかかる費用は 市庁舎建設特別委員会

すことを求めました。 すこの計画に対して、事業全体を見直 で賄うとしています。将来に負担を残 が、3億円もの増額が示されたこと に驚きました。この財源は基金と市債 ストを抑えることを求めてきました より205億円かかるとのことです。 駐車場面積の変更やその他の要因に 77億円と説明がありましたが、地下 構想では150億円、基本計画では1 画の事業費が示されました。当初基本 これまでも、財政状況を考慮し、コ 老朽化による市庁舎の建て替え計

書)なども普及しています

加入を求める意見書」に反対!! 地方議会議員の厚生年金への

出された意見書で要望された内容は に廃止されました。今回議員提案で 員の特権的制度だとして2011年 長年運営されてきた議員年金は議

> 億円もの公費負担(税金)が新たに 負担となり、国全体で毎年度170 すると年金保険料の2分の1が公費 変えて提出されてきたもので、実現 いったん廃止された年金制度が形を

の配架などはありますが、さらなる充

府中市の図書館にもデイジー図書

制度の復活には、市民の理解は得ら りません。生活者ネットワークはそ の問題は年金制度だけが原因ではあ 足」を理由としていますが、それら の低さや、地方議会議員のなり手不 れないと、反対しました。 の議論抜きでの公費負担による年金 意見書では「住民の議会への関心

めにサービスの充実を訴えました。 れもが利用できる図書館であるた スの周知を図ることが必要です。だ 館を訪れる利用者に障がい者サービ とのことでしたが、そのためには図書 る図書館が理想であり、それを目指す 弁は「すべての市民が平等に利用でき 実を求め一般質問しました。市長の答

必要と見込まれています。



### 「夜の街歩きスタディーツアー」参加して 彼女たちに

「欠けているのは衣食住と関係性」 11月の平日の夜、一般社団法人 Colabo の「夜の街歩きスタ 場所をなくした中高生を取り巻く現状を知り、気付ける大人を増 やすための企画」である。いくつかの繁華街を巡回し、女子高生 に性的サービスをさせる JK ビジネス店の勧誘に少女たちが立 っていたり、少女を仕事に斡旋する「スカウト」がたくさんいる 場所に案内されたが、意識して歩いてみなければ気付かなかっ 「性の商品」となっていく少女たちへの伴走支援をする Colabo の説明に、思春期の少女たちを搾取する仕組みが、こん

なに身近にある実態を知らなかったとショックを受けた。 搾取する側はSNSを駆使し、まずやさしく声を掛けて彼女ら に衣食住を保障するという。困っている子どもたちが支援に繋が る前に危険に取り込まれている。家庭や学校での居場所のなさ、 虐待などから逃げてくる少女たちに「欠けているのは衣食 であり、「お金欲しさ」 社会の責任として引き受けなくてはいけないはずだという主催 者の説明が重たかった。(前田弘子)